

JMRC 北海道

2009 年 第 5 回運営委員会 議事録

開催日時	2009 年 12 月 5 日 (日) 11:15-12:00・14:50-16:00
場 所	札幌コンベンションセンター 101 会議室・中ホール
出席者	中田 国井 佐藤 林 森清 関根 奥野 西野 榎田 藤原 石川 永井 小笠原 (記)
欠 席	宮本 和泉 竹道 恒松
出 張	なし
配布資料	別紙 1：2010 年モータースポーツカレンダー (A4/5 枚) 別紙 2：2010 年ラリーシリーズ共通規定・案 (A4/8 枚) 別紙 3：第 3 回ラリー部会報告 (A4/1 枚) 別紙 4：2010 年ジムカーナシリーズ統一規則・案 (A4/6 枚) 別紙 5：第 4 回ジムカーナ部会報告 (A4/3 枚) 別紙 6：2010 年ダートトライアルシリーズ統一規則・案 (A4/6 枚) 別紙 7：2010 年レースシリーズ規定・案 (A4/1 枚) 別紙 8：事務局業務について (A4/1 枚)

I. 継続審議案件

1. 2010 年度シリーズ戦について 報告：事務局

10 時から JAF のカレンダー調整会議があり、日程などは申請から変更がなかった。(別紙 1)

II. 定例議案

1. 部会報告

1-1. ラリー 報告：藤原

共通規定の提案があり、承認した。(別紙 2)

11/14 に部会を開催した。(別紙 3)

2WD1.5 シリーズについて、1 クラスのみなので、タイトル料は免除することとした。

全国ラリー振興事業委員会にて、車載消火器の点検期限の緩和も求める要望を JAF に提出しているが、技術部会で却下されたので、要望を継続して行うこととする報告があった。

オールスターラリーについて、2 台がリタイヤで入賞者もいなかったが、皆楽しんできたようだ。1 台の参加者が近畿在住者であったが、クラブ所属も互助会も北海道で加入していたので助成金を出したとの報告があった。今後もこういうケースがでてくれば、都度検討することとした。

報告 5、(1) について、部会でポイントを与えないというのは、間口を狭めてしまうものではないかとの指摘があり、部会に対して再検討を依頼した。

JAF へ特認請を出していた、グリーンリングを公式通知にて対応する件が認められたので、来年よりその旨特別規則書に掲載すれば、省略することができるようになったとの報告があった。

モスラのアンテナについて、安全面確保の必要性から購入を検討してほしいとの要望があった。

→次回までに見積書を提出すること。壊した時の対応をどうするかも検討しなくてはならない。

1-2. ジムカーナ 報告：石川

統一規則の提案があり、承認した。(別紙 4)

11/29 に部会を開催した。(別紙 5)

スピード行事参加申込書・車両申告書について、オーガナイザーからの要望で切取線を入れ車両申告書の方にも氏名が入るように追加することとした。

教育事業費の有効活用のために、JMRC オールスター戦への参加者が少なく部会の助成費用が使いきれない場合に、選手の技量体験アップに繋がる他地区への遠征時に助成金をだしてもらえないかとの要望があった。

→企画書・報告書を提出してもらい個別に検討していくこととした。

1-3. ダートトライアル 報告：事務局 (代)

統一規則の提案があり、承認した。(別紙 6)

1-4. レース 報告：事務局 (代)

シリーズ規定の提案があり、承認した。(別紙 7)

III. その他 (次回運営委員会日程ほか) 報告：事務局

3-1. JMRC 北海道事務局業務について 報告：事務局

前回の帯広支部からの事務局の改善要望について、事務局の業務内容にて別紙の業務があることを報告した。(別紙 8)

→ホームページ業務を付け加えること。

事務局業務と会計業務を 1 人で行うには、もう限界を超えている。他地区では事務所を設けて、専任の人員もいる。お金がかかる話で経費的には非常に厳しいが、もう一人の頑張りで解決できる問題ではない。事務局を移す費用等をだして、来年度の予算組み入れ検討していくこととした。

3-2. JMRC 北海道組織について

さきほどの道協総会にて、支部統合等の規定案が否決された件だが、クラブ数の減少などに伴い各支部の活動が低下していることにより検討してきたことを、支部内にて十分な説明がなされていなかったのではないかと。

→今後の改善点でいえば、支部長に対して支部会議の開催を強く要請、または義務づけが必要ではないかとの指摘があった。

→専門部員が他支部のクラブに属するなど、情報の伝達と収集に支障が出そうな例があるとの指摘があった。

3-3. メディアのタバードについて

現状、JMRC 北海道シリーズ戦などではメディア用タバードは主催クラブにより用意していないこともあるが、競技会の露出を増やすため、また一般の観戦者との区別が容易につくようにするため JMRC 北海道としてメディアタバードを作成することとした。運用に当たっては誓約書を含めた申請書を作成し、シーズンを通して使う事とした。安全性と競技の進行を妨げることのないよう周知徹底する。

3-4. 次回日程 報告：事務局

3/7 を予定する。

以上。